

## 「グローバルラボ仙台」で、IoTを初歩から学ぼう!

NTTドコモ東北支社の篠原さんがゼネラルマネージャーを務める「グローバルラボ仙台」は、仙台・東北にゲーム産業とICT産業を新たに創出するために創られた仙台市の産業振興プロジェクトです。無線技術発祥の地と呼ばれるフィンランド・オウル市、ITの聖地と呼ばれる北米シリコンバレーとのグローバルネットワークを活用し、民間企業の活性化や若者のIT教育に力を入れています。このプロジェクトでは、IoTやVR、人工知能など、さまざまなセミナーを無料で開催していますので、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。また、今年2月には、東北の学生が開発したITサービスやゲームアプリを発表するコンテストも開催。次世代を担う若者への応援もお願いします。

【問い合わせ先】  
グローバルラボ仙台 事務局  
株式会社NTTドコモ東北支社 ICT街づくり  
電話 022(752)5251



NTTドコモとアンデックスの共同開発による水温センサー付きブイ。海水温のデータをクラウド経由で蓄積し、カキ養殖の生産管理に利用している。

我々のような企業と共に、さまざまな課題を一緒に検討していきましょう。



株式会社NTTドコモ 東北支社

ICT街づくり担当

しのはら としなり

篠原 敏也 さん

ソリューション・フロント  
SE担当課長

ふじさわ たかゆき

藤澤 崇之 さん

法人営業部  
部長

やまだ ひろゆき

山田 広之 さん

で個別家電で可視化されていなかったデータを確認できるようにもなりました。自動運転カーも同様、GPS情報により、現在の位置と目的地をルート化し、自動で走行することが可能になりました。また車外にセンサーを装着することで対物の検知が可能になり、ぶつかる前に自動ブレーキがかかるなど、現在では高齢者運転の事故防止などに寄与しています。

状況に柔軟に対応できる企業が、今後生き残っていく企業と言えるかもしれません。弊社では、さまざまなIoTサービスを提供していますが、東北発の例としては、仙台のアンデックス社と共同で開発した水温センサー付きブイがあります。現在、はこだて未来大学の協力を得て、カキの養殖場でこの水温センサー付きブイにより海水温データを取得し、最適な生産管理に役立てています。今までは船で1時間かけて養殖場の海水温を測っていましたが、この水温センサー付きブイを開発したことで、船の燃料代の圧縮、さらには人的な稼働削減が実現可能となりました。これにより、長年の経験や勘に頼ってきたカキ養殖をマニュアル化

し、品質の良いカキを、しかも高い生産性をもって育てられる仕組みが今、まさに実現されようとしています。

その他、水温センサーを活用した牛の出産サポートを行っています。今までは、出産の近い牛の状態を畜産農家が昼夜問わず目視で監視、管理を行っていましたが、牛にIoTの温度センサーを装着することで体温を細かく管理し、牛の出産時期を予測することが可能になりました。牛が破水した場合はメールで通知がくるようにも設定されていて、今後は年間約3万頭もの牛の出産を支えることが期待されています。

IoTを活用する上で最も注意していただきたいのは、「IoTありき」にならないことです。何のために、どのようなデータを取得し、活用していくか、目的を明確にした上で取り組むことが大切です。IoT利活用のヒントは、皆さんが行っている日々の業務の延長線上にあると思います。自社だけで考えるのではなく、我々のような企業と共に、さまざまな課題を一緒に検討していきましょう。

## IoTとは、さまざまなデータを収集する手段です。

人の手を介さずにモノ同士がつながる

IoTは「Internet of Things」の略称で、「世の中にある全てのモノにセンサーとネットワークを接続し、人々の生活を便利にする」仕組みのことを指します。私たちが生きているこの世界にはさまざまなデータが存在しており、コンピュータを介することで、そのデータを取得、蓄積、可視化でき、企業のマ

ケティング活動やさまざまなデータ分析に用いられます。

分かりやすい例でお話すると、スマートウォッチやスマート家電、コネクテッドカー(自動運転カー)などが、これにあたります。従来、腕時計は単なる時間を確認するツールでしたが、センサーやネットワークが組み込まれることにより、連携しているスマートフォン(スマホ)への着信やメール、LINEなどの通知をいち早く、スマートウォッチで受信する

ことが可能になります。これにより、普段バッグやポケットに入っているスマホを取り出すことなく通話ができ、メールやLINEなどの返信が可能となりました。

また、スマート家電、例えばエアコンに関しては、今までは家に帰宅してから赤外線リモコンで操作していましたが、ネットワークに接続されることにより、家に帰る前に自分のスマホからエアコンをつけることが可能になります。センサーを装着することで、使用時間、電力量など、今ま

## 特集

# IoTの利活用が企業にもたらすものとは。

近年、さまざまな業界でIoTの利活用が推奨される中、興味はあっても「何から手をつければよいかわからない」、「そもそもIoTとは何なのか」といった不安や疑問をお持ちの方が多くいます。IoTは、新しいビジネス領域としてだけでなく、企業の課題解決や生産性向上につながるものとしても期待されています。取り組みを進める上では、漠然とではなく、自社の課題、問題点を整理し、より具体的な導入イメージを持てば、その効果がより一層増すでしょう。そこで今号では、IoT活用のヒントを探るため、そのサービスを提供、利活用している方々にお話を伺いました。



